



議会だより



5月16日、今年度重要施策予定地及び災害復旧工事現場を視察

産業建設常任委員会視察

大王橋、損傷状況の確認と「しもなの郷」で事業内容について詳しい説明を受ける

六月定例会

議案の審議 そこが聞きたいQ&A (6月定例会)	2P~4P
議案の審議結果 (6月定例会)	4P~5P
ご存じですか?	6P
コラム (1)仁淀川町第1号のマンゴー・(2)佐川高校	6P・13P
一般質問 (7人が質問)	7P~13P
「宝来荘」備品類存在確認特別委員会	14P
産業建設常任委員会 視察結果報告	14P
総務教育民生常任委員会 活動報告 (議会インターネット中継)	15P
高吾北広域町村事務組合報告 (第2回定例会)	16P
コラム (3)ファミサポの輪・(4)松谷ナイトサービス	17P
残したい文化財 (地主神社 (狩山日浦))	18P

議案の審議

そこが聞きたい

— 第 2 回 (6 月) 定例会 —



○ 報告

■ 専決処分等の報告について (物損事故に関する和解について)

問 大野議員

集落までの町道で、落石の危険箇所の点検は十分か。

答 片岡産業建設課長

町道の点検を行い、不備があれば補修・改良を行う。

○ 条例の改正

■ 仁淀川町観光センター等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

問 竹本議員

観光センターのグラウンドで動物を飼っているが。

答 田代仁淀地域振興課長

補佐
管理するように指導する。

■ 仁淀川町名野川シェアオフィスの指定管理者の指定について

問 竹本議員

指定管理者の仕事内容は。また、入居希望者はいるのか。

答 若藤企画課長

清掃、管理が主な仕事。使わない部屋の風通しもお願いしている。入居希望者は 1 件問い合わせがある。

問 竹本議員

管理委託料 58 万 2 千円、9 カ月で妥当な額か。シェアオフィスの入居者に指定管理の仕事任せられないか。町の予算が厳しくなる中、名野川出張所職員やシルバー人材センターに頼むことも一考だ。

答 若藤企画課長

まちづくり推進事業費の施設管理委託料 58 万円は 7 月 1 日から 9 カ月、共有部の電気・ガス・水道代、浄化槽点検・維持管理の支払いも含まれる。予算はシ

ルバーへ清掃を頼む金額を参考に算出した。指定管理の応募は 1 件。

問 竹本議員

決してこの指定管理者が不適格と言っているのではない。町の財政難を考え、少しでも安い方法をとるべき。今後、専門的な事業者がオフィスに入居した場合、機密保持の観点から第三者に部屋へ入ってほしくない場合も考えられるが。

答 大石町長

入居した事業者の自社スペースは自らの管理となる。建物は 3 階建て、土日、夜間の管理が必要な場合もあり、シルバーではなく管理者を置く。

問 左京議員

先に管理者を決めるより、シェアオフィス入居者に管

理をお願いし、シェアオフィスが満室になるよう、入居に向けた輪を広げる考え方をすべきだ。

答 若藤企画課長

町内の 1 業者から 3 部屋使いたいと問い合わせがあった。
指定管理者は地域の人であり、管理も充実できる。



名野川シェアオフィス

問 片岡議員

徳島県神山町では町全体を盛り上げる企画、地域活性化に取り組むような動きが指定管理者にあった。

指定管理者は名野川地域を全国発信できる、意気込みのある人をお願いしては。

答 若藤企画課長

設置管理に関する条例などもあるが、その中でできる範囲、今後入居する事業者と検討を重ねていく。

■令和元年度仁淀川町一般会計補正予算(第1号)について

問 竹本議員

総務費の地域づくり事業補助金230万円の内容を。商工費の観光費、消耗品費55万4千円は安居溪谷宝来荘の消耗品を経年劣化により購入すると説明があった。

この金額で足りるのか。宝来荘は4月当初、本来あるべき備品、消耗品類がなくなっていて、想定外の出

費がかさみ苦労している。

教育費の報償費、講師謝礼6万円の内容は。

答 若藤企画課長

地域づくり事業補助金230万円は、全額、一般コミュニティ助成事業での補助。長者地域の行事で使うテント、テーブル、イスの購入費。

答 古味池川地域振興課長

宝来荘の営業を始めるにあたり事前準備で食器類などを点検した。経年劣化による不足分が発生したと報告を受け、役場と安居溪谷(株)が話し合いを重ね、不足した食器類などを今回予算計上。

フライパンや食器類がなく、施設の布団がお客さまに提供できる状態かどうかの確認が不足していた。管理不足であった。

答 古味教育次長

教育費、教育振興費の講師謝礼は、県の委託事業「わがまちの道徳教育推進事業」で高知大の先生が小・中学校で行う研究授業費。

問 片岡議員

宝来荘の消耗品が経年劣化と聞いた。平成13年以降、何も買わず全部現存しているのか。

冷蔵庫や他の備品類はすべてあるが、什器類だけはないのか。買ったのは什器類だけか。

答 古味池川地域振興課長

宝来荘の備品台帳の更新が平成13年度から更新されていない。平成13年に安居溪谷の管理者が変わったときに更新して以来、確実な数字は把握していないが、指定管理者は何団体かわわっている。その都度、備品、消耗品、備え付けが更新できておらず、平成2年開所当時からあった備品台帳のものがすべて現在まで残っていて、それが経年劣化、少なくなっているといったことが確認できていない。

平成31年1～3月に、冷蔵庫、厨房の棚、デスクなど備品の確認と台帳整理のためのシール貼りを行った。100ℓの2ドアの冷蔵庫が1個、備品として確認できな

かった。

問 片岡議員

宝来荘にいろいろな備品があったことを記憶している。冷蔵庫やテレビは平成13年以降に購入したものの。新しいものはなかったのか。

答 古味池川地域振興課長

テレビが古いものか、新しいものか、記憶の中で「テレビがあったが、一つはない」「小型のガスコンロがあるはずだったががない」という状況で回答できない。バーベキュー棟の木製テーブルとイスが七つあるうちの四つが確認できていない。



安居溪谷「宝来荘」

問 片岡議員

テレビなどは平成13年以前に買ったものか。新しく買い替えたものはなかったのか。

答 古味池川地域振興課長

平成13年度から備品台帳が更新されておらず、いつ購入された備品であるかわかれない。新たに調査をかけて、今後説明させていただきます。

問 左京議員

宝来荘の件で、契約書に基づいて相手方に交渉したのか。こういった管理で本当に役場はよかったのか。誰の責任か明確にすべき。秋葉の宿、ゆの森もある。公金を使って購入したものは慎重な管理が必要。55万4千円の予算で宝来荘の備品などすべてが補えるのか。相手方との交渉の状態と責任をどう考えているのか。

答 大石町長

今までの管理者より「使えないものは廃棄した」との話があった。過去に管理者が変わり引き継ぎも十分だったのかも含め、分かる範囲で調査をしている。時間をいただきたい。

答 古味池川地域振興課長

確認できない物品の中には、はんでん、寝具、あまご揭示用水槽、バンガローでの簡易な食器セットも含まれている。

問 大野議員

他にも指定管理の施設

がある。今後はこのようなことがないよう執行部も慎重に対応すべきだ。

■令和元年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

問 大野議員

事業費、維持管理費の汚水処理施設機能強化対策工事費の内容を。

答 津野町民課長

田村地区、森地区にある農業集落排水施設の汚水処理機能を強化するため、機器の更新を行うもの。

■固定資産評価員の選任について

氏名 片岡 博(葛原)



議案の審議結果

令和元年第2回仁淀川町議会6月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
報告第1号	専決処分の報告について(物損事故に関する和解について) ※町道において通行中の自動車に落石があり、窓枠に損害を与えた事故の和解について報告をするもの。	原案報告	報告のみ
報告第2号	専決処分の報告について(仁淀川町税条例等の一部を改正する条例) ※地方税法等の改正に伴い、軽自動車税環境性能割の税率を軽減する特例措置等を改正。	原案承認	全員賛成
報告第3号	専決処分の報告について(仁淀川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) ※地方税法等の改正に伴い本条例の一部を改正するもの。	原案承認	
報告第4号	専決処分の報告について(仁淀川町介護保険条例の一部を改正する条例) ※消費税率の引き上げ予定に伴い、第1号被保険者の保険料軽減を図るため、本条例を改正。	原案承認	
報告第5号	専決処分の報告について(平成30年度一般会計補正予算(第5号)) ※補正額は5,884万1,000円の減額、補正後の予算額は、歳入・歳出それぞれ67億3,220万1,000円。	原案承認	
報告第6号	平成30年度仁淀川町繰越明許費繰越計算書の報告について ※一般会計は17事業3億9,884万4,000円、簡易水道事業特別会計は291万6,000円を繰り越すもの。	原案報告	報告のみ

令和元年第 2 回仁淀川町議会 6 月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
議案第32号	仁淀川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について ※低利率での貸し付けが可能となり、被災者の返済負担を軽減するための改正。	原案可決	原案可決
議案第33号	仁淀川町安居溪谷森林総合利用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ※施設利用拡大を図るため、キャンプ利用に係る規定を追加するもの。	原案可決	原案可決
議案第34号	仁淀川町観光センター等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について ※施設利用拡大を図るため、キャンプ利用に係る規定を追加するもの。	原案可決	原案可決
議案第35号	仁淀川町認知症高齢者グループホーム施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について ※耐震改修が困難な町の施設を、新たに民間が施設を整備及び運営することに伴い、本条例が不要となったため廃止するもの。	原案可決	原案可決
議案第36号	仁淀川町名野川シェアオフィスの指定管理者の指定について ・指定管理者 (有)品原建設 ・指定の期間 令和元年7月1日～令和2年3月31日	原案可決	反対:西森(常)議員 大野議員 左京議員 竹本議員
議案第37号	令和元年度仁淀川町一般会計補正予算(第1号)について ※歳入歳出の補正額は、4,098万円の補正、補正後の合計は、67億8,776万4,000円。	原案可決	反対:岡田議員
議案第38号	令和元年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について ※歳入歳出の補正額は、300万円の補正、補正後の合計は、6,005万3,000円。	原案可決	全員賛成
同意第1号	固定資産評価員の選任について 住所 葛原 氏名 片岡 博(55)	原案同意	全員賛成
発議第4号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決	全員賛成
発議第5号	安居溪谷「宝来荘」備品類存在確認特別委員会設置に関する決議 ※安居溪谷森林総合利用施設指定管理者の変更により、当施設の備品類が多数紛失していることが発覚、その原因を調査するため、竹本議員より提出されたもの	原案可決	全員賛成

※読後、議会だよりに対するご感想、ご意見をお寄せください

(仁淀川町議会事務局) ☎35-1081

📍吾川郡仁淀川町大崎200番地

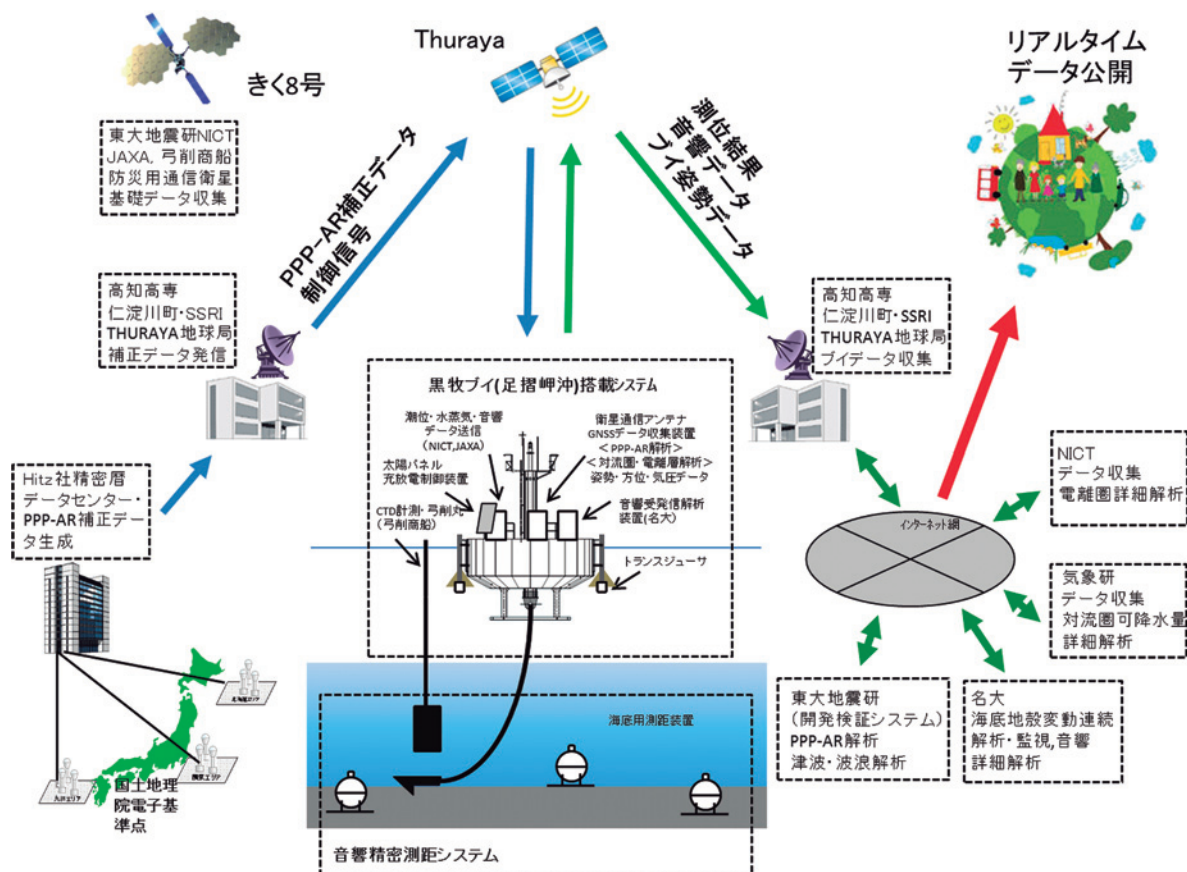
※議会を傍聴しませんか

(日程は、防災無線などでお知らせいたします)

ご存じですか？

東京大学地震研究所（東大地震研）、名古屋大学環境学研究科（名大）、情報通信研究機構（NICT）、気象庁気象研究所（気象研）、弓削商船高等専門学校（弓削商船）及び高知工業高等専門学校（高知高専）は、文科省科研費基盤研究（S）として研究補助金を受け、「海洋GNSSブイを用いた津波観測の高機能化と海底地殻変動連続観測への挑戦」のテーマで、平成28年度から5年計画で研究を開始しました。現時点で高知県足摺岬沖に設置の実験システムは、下記ようになります。

図中に示しますように、足摺岬沖のGNSSブイを機能させるための衛星通信機能及び観測データリアルタイム発信のためのインターネットサーバー機能を仁淀川町竹ノ谷の山茶小屋に配置しています。



仁淀川町第1号のマンゴー

(1)

初夏の午前9時、ハウス内の温度は51度・湿度89%を指し、熱気と湿度でまさにサウナ状態。

扉開放で一気に温度を下げる！とはいかずトホッ。

3月開花した花が実をつけ、今大きいもので長さ10cm周り12cmに成長、他にも小ぶりのマンゴーが十数個、収穫が楽しみな時期を迎えています。マンゴーの表面は緑から深紅色に変わり、8月初旬には赤黄色に熟成、落下時に完熟の予定。

この成長をマンゴー農家の方に尋ねると「仁淀川町第1号の収穫」と我がことのように喜んでいただけました。

冬季にも一切暖房を入れず越冬し、元気に成長したマンゴー、石垣ハウスの素晴らしさ（威力）に今更ながら感心させられ、口に入る日が、待たれる！見学歓迎です。

（片岡智準 記）



仁淀川町第1号のマンゴー

町 政 を 問 う 一般質問 7人登壇

片岡智准 議員 P 7
 ☆町内の商店支援
 ☆若者世代による行政委員会設置

竹本文直 議員 P 8

☆宝来荘の備品

☆保育士の確保

☆国土強靱化計画

岡田良成 議員 P 9

☆魅力ある行政

☆工事見積書

☆民間保育所建設補助金

西森常晴 議員 P 10

☆聖火リレー

☆パワリハ施設拡充

左京憲昌 議員 P 11

☆大崎橋掛け替え

☆人口減少対策

大野 弘 議員 P 12

☆池川保育園建て替え

☆職員の異動

☆地域担当職員

藤崎源彦 議員 P 13

☆町営住宅の防犯対策

一般質問

町内の商店に
対する支援を中小企業等
経営支援で

問 片岡智准議員

町内では後継者不足などで閉鎖店舗が見受けられる。最近では、客待ち型販売は影が薄れ、「ネット販売」へ移行している。パソコン導入を支援推奨し「商店の活性化」を試みてはどうか。

答 大石町長

毎年2〜3店舗減少傾向にあり、商工会では「経営発達支援計画」を策定、買い物支援サービスを、また町が保証料補給などを行っている中小企業等経営支援対策での設備投資や運転資金による経営改善を、観光

協会ではオンラインストアによる商品の掲載を行っており、今後も充実したものとした。

問 片岡

徳島県の葉っぱビジネスでは80歳代の高齢者がネット入札でビジネスを成立させ、効果は健康にも影響し、生き生きとしている。町内の店主に対して、オンラインストアサービスなどの研修機会を設け、現状を打開しては。

答 町長

徳島県の葉っぱビジネスはインターネットを使い、健康増進にもつなげ素晴らしい。本町商工会でも経営指導者があり、ネットの件を含め検討されている。しかし、地元住民も地元商店の活用が大事で、この点も合わせ取り組みたい。

問 片岡

経営指導員には形にとらわれない、新たな発想での販売戦略を期待する。

答 町長

意見を生かしながら、商工会、観光協会と連携を密にし、商店街の活性化に努力したい。

若者委員会の設置

検討する

問 片岡

愛知県新城市では「若者議会」を設置し、「魅力あるまちづくり」を進めている。方法は市の予算1千万円を使い、若者が参加し、市長に政策提案する取り組み。本町議会は女性や若者議員の参加がなく、先行きが懸念され、形式にとられない「若者委員会」を設置し、議論させてみてはどうか。メンバーは公募で募り、純粋な町内外の若者、女性で構成する制度。

答 町長

新城市は若者条例などを制定して施行されている。市長が委嘱した16歳〜29歳までの20人を委嘱、市長の

諮問機関として位置付け、答申議案は検討され議会に提出。住民の声を聴く重要な制度と考える。本町でも若者や女性が参画してもらえるように提言を参考に研究を重ねたい。

問 片岡

若者議会に参加していた方が議員となられている。子育て世代の参加方法などを議論し参加しやすい環境をつくってほしい。

答 町長

本町でも各種政策の検討では、幅広い年齢層の方が委員に就任し協力いただいており、今後もいろいろな形で検討したい。

問 片岡

若い人が率直な意見が言える機会をつくる試みだけでも検討されたい。

答 町長

議員の発言は理解でき、若者・女性に参加できる方向で検討したい。

一般質問

「宝来荘」備品の確認

管理台帳が
不備であった

問

竹本文直議員

「宝来荘」の新管理者によると、営業に必要な備品類が大量になくなっており、営業に支障をきたしている、と相談を受けた。

前管理者との引き継ぎは、いつ、どこで、だれが立ち会い、どのように行われたのか。

担当課としてどう把握し対処するのか。法的対処を含めた答弁を。

答

古味池川地域振興課長

当時スタッフとして働いていた方から聴き取りを行い、備品の確認、備品台帳の整備を行った。

確認できない物があり前管理者に問い合わせたが、

「経年劣化や故障して使えない物は処分した」との回答。

平成 31 年 3 月 12 日、前管理者の代表者立ち会いで引き渡し確認を行ったが、備品台帳が平成 13 年度から更新されておらず、詳細な確認ができなかった。

弁護士に、備品消耗品などの勝手な処分や、所在不明の件について相談したが、備品台帳、消耗品台帳などの明確な個数や、写真など、証明するものがないと、損害賠償請求はできないとの見解を受けている。

問

竹本

指定管理者は設備を適切に維持管理し、管理しなくなった施設は設備を速やかに原状回復、故意または過失により施設または設備を損壊、滅失したときは、損害賠償しなければならぬのか。

答

大石町長

備品台帳は 13 年度から更新されておらず、経過が全く分からない。

実際、物がなくなっていることが確定すれば、法的処置も必要。弁護士と相談し、対応を考えたが、難し



大量の備品類がなくなっている宝来荘

という回答。

今後は、備品台帳、消耗品の管理体制を整えるよう指示をした。

問

竹本

備品台帳の未整備、引き継ぎが確実にできていないことが問題。

台帳を整備するのは当然だが、指定管理者の募集時は慎重に選考すべき。

施設の利用方法も、不適切な利用をふくめ、宝来荘だけでなく他の施設すべて、担当課が常に気を配り、町の財産を管理する義務があるとは考えるが、町長の見解は。

課長は引き継ぎに立ち会ったのか。

答

町長

本場に反省すべき点が多かった。今後そういったことがないように、取り組みを指示していく。

答

古味池川地域振興課長

3 月 12 日の引き渡し日、私は現地での立ち会いに同行していない。

保育士の確保は

問

竹本

社協運営保育園の保育士確保は十分か。待機児童の状況は。

答

竹本教育長

現在保育士数は最低限満たされている。しかし、新たな入所は年齢により受け入れが難しい。現在待機児童はいない。

問

竹本

子どもを産み、安心して仕事ができる環境が必要。役場職員で保育士資格を持った方々に復帰してもらい、保育行政を支えてもらうことが必要と考えるが。

答

教育長

現職職員の保育士復帰は

難しい。
有資格者には社協と連携し声掛けをしていく。

国土強靱化について

問

竹本

「国土強靱化計画」の策定が市町村で進んでいない、との報道があった。本町では策定済みか。

答

町長

国との役割分担や県の地域計画との調和を考慮した、施策の策定は必要。

本町の計画の見直しを考慮しながら、今後、国土強靱化地域計画の策定について必要性を踏まえ、協議・検討していく。

問

竹本

災害時、医療機関は山の水を使えない。大崎、森、池川など医療機関がある地域の水道施設の耐震化を急ぐべきでは。

答

町長

すべての計画は無理だが必要性の高いものは検討していく。

一般質問

魅力ある仁淀川町の行政について



最善を尽くす!!

問

岡田良成議員

町民が幸せを感じる行政、自慢できる行政、過疎高齢化、若者流出、人口減少を打開するためには、町民一丸となって町の生き残りをかけて創意工夫し、執行部、議会、町民の信頼関係が最も大事。

今後魅力ある町にするために、行政の在り方を問う。

答

大石町長

過疎高齢化が進んでおり、魅力的な町になるよう質的改善や、新しい働く場の創出を積極的に支援する。しかし、財政規模の縮小も進み、財源やマンパワー

の不足も懸念される。国や県の補助金の獲得や行財政改革にもしっかりと取り組む。

問

岡田

町の魅力は何なのか。過疎を食い止めるには何が必要か。町民は行政、議会に対し、不信任を持っている。それをどう払拭するか。

答

町長

大変厳しい状況だが、町には多様な資源があり、これを生かすことは大事だ。最近では、若い起業家や林業研修生が来て地元で頑張っている。若者が定住を望むまちづくり、これが非常に大事。町民とともに取り組みんでいく。

問

岡田

老後の不安をなくすには、診療所の隣に高齢者住宅があれば安心して暮らせるのではないか。

答

町長

町には生活支援施設が池川地区、仁淀地区にある

が、今後、高齢者向けの住宅も検討していきたい。



大崎診療所隣の町営住宅

3月当初予算で可決された改修等整備工事の見積書について

問

岡田

下名野川の集落活動センター改修等整備工事費見積書の業者名を黒塗りした理由と業者名を問う。

答

町長

事業の計画にあたり、事前に国や県との協議をするために、事業費などの一定の資料は必要である。見積書は専門家に相談し、資料を基に国・県とも協議して予算の算定を行っている。質問の資料は業者からの

参考見積もりで、黒塗りしたのは今後の事業執行に影響すると考えられるため。

問

岡田

3月議会前に、地ビール製造工場ができるとの話があり、役場職員から建築には、どれぐらいかかるかと問われ2千900万円くらいいるだろうと話したが、見積書もないのにそれが議会で可決され、当の本人から議会もざっとしたものと言われた。

私は、納得がいかないの、弁護士に相談に行き、見積書と試算表の提出をするように求めた。その結果、黒塗りの試算表が、弁護士から送付される前に、ある会社私がいるときに、建築会社の方が訪れて設計書を書いてほしいと依頼してきたが、ある会社の方は議会で可決をされたものは書けないと、ある会社だったから書いてくれるだろうと話をした。4月24日に集落活動センターの入札があり、総合企画設計が落札し、それに不信任を持っており、その答弁を。

答

片岡副町長

黒塗りの業者は、総合企画設計ではない。予算の枠を協議する上で参考見積もりを取った。

今後建築設計を委託するもので、予定価格を決め過去の実績を基に指名した。8社で入札の結果、総合企画設計が予定価格の55%、285万円で落札した。

民間保育所施設整備費及び設備費補助金について

問

岡田

補助金1億4千780万円が支出される。設計書や予算の内容について説明がないので反対討論をした。

見積書の中で杭工事の費用として1千万円が計上されている。その内容は。

答

竹本教育長

池川保育園の建て替え事業が、ぎりぎりまで決まらず議会の報告が予算計上と同時にになり、十分な説明できなかった。

基礎工事のため施工するもの。

一般質問

東京オリンピック
聖火リレー



残念に思う

問 西森常晴議員

知事は「今回のルートは、県の魅力をアピールできるコースを」とコメントしている。

ユズとモネの庭の北川村、インフラ整備と町創りの模範生、梶原町が選ばれたのは納得できる。

本町は聖火リレーのルートから外れたが。

答 竹本教育長

前回（昭和39年）のオリンピックでは、愛媛県境から本町に聖火が運ばれ、町民もリレーに参加し、沿道の応援も大いに盛り上がったと聞いている。

本町を通れば町の活性化にもつながり期待していたが、ルートから外れ残念に思う。

※
パワリハ施設の拡充を

利用者の要望を聞く

問 西森（常）

平成30年、100歳を超えた人口は約7万人。本町では4人に長寿祝い金が渡された。



答 大石町長

30年後には、70万人と推定されている。古いの長期化が進んでいる。大崎診療所施設整備工事に併せて、パワリハ施設の拡充を。

答 片岡保健福祉課長

平成30年度のパワリハ利用者は延べ2千339人、利用実人数は74人。利用者の要望を取り入れ施設の拡充を図っていく。

大崎診療所同一建物内に、現在の1.5倍の面積を予定している。資機材については、利用者の要望を聞き前向きに取り組んでいきたい。

※
パワリハ運動器具を使用して身体を強くするリハビリ。

令和22年には自治
体の半数が消滅

問 西森（常）

作家でジャーナリストの河合雅司さんが、文藝春秋6月号で「令和22年には自治体の半数が消滅の危機にある」とコメントしている。シェアオフィスを生まれ変わる旧名野川小学校の改修目的は何か。



改装された名野川シェアオフィスの室内

答 若藤企画課長

7月から新規事業者者に利用してもらい、広く県外、世界へと大きく羽ばたいてもらうことを望む。

問 西森（常）

トトレレ(株)に代表されるように、本町には移住し起業されている方々がいる。シェアオフィスは、次々と新規事業が起業できる場として利用されることを望む。

地元の間人が集まってくる「宴会場」になってしまっただけは、令和22年を待たず、仁淀川町は消滅の先陣を承ることとなると思う。

一般質問

大崎橋の建設

調査の結果を
見ながら

問

左京 憲昌議員

3月議会でルートや事業費など検討を専門家に依頼し、架け替えなどを含めて検討するとの回答であった。

その後の進捗状況は。

答

片岡産業建設課長

委託設計書を作成終了し、入札を6月25日に予定。当初予算で200万円を計上。

問

左京

間伐などにも必要なので、早めに建設を。

答

大石町長

大崎橋は近接目視の点検

が終了。
現状は重量制限をしており、地域産業、林業を中心に非常に影響も大きく、ルートも含めた調査をし、県へ要望していきたい。

国道33号のルートに絡めて、事業化に向け早期の整備を強力にお願いしている。併せて検討していくことになる。
今回の調査を受けて、県や国とも協議を進めたい。



早期改修が望まれる大崎橋

問

左京

国道33号越知道路も、着手するまで長期間を要した。33号の改良を待ってはられない。

早急に着手を。

答

町長

私も必要性は十分感じている。今年度に調査をし、結果を見ながら県へ要望していく。

人口減少対策

問

左京

①現状が把握できていない。本町役場、町内の各事業所の役員、職員の構成(町民なのか、町外者なのか)を把握し、現状を互いに共有し、打開策を練らないか。

②UターンよりUターンに手厚い支援を求める。

Uターンの方が再度転出する割合は少ないと思う。Uターンの方は支援期間終了後、転出される方が多くないか。

答

町長

①役場の現状は把握している。民間の事業所は平成29年に職場アンケート調査を実施した。転出した理由などを調査、278人が回答、28%にあたる79人が町外から通勤している。このうち4割の32人が佐川町から通勤、以下越知町14人、いの町14人、高知市8人。
また、79人のうち60人が

持ち家から通勤。
転出理由は「こどもの学校のため」とする回答が多数を占めている。アンケート結果は、行政施策の参考とし、今後必要に応じて調査を実施、行政運営に役立てていく。
②仁淀川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に「Uターン促進事業」があり一部要件があるがUターンの方も地域おこし協力隊として就労可能。町の将来の担い手となる若者の町内回帰と定住を促進するため、卒業後に町内に居住すればその期間の奨学金返還額を補助する制度もある。
家屋の改修などに活用できる補助金もあり、要件や予算の関係から、早めに役場に相談を。

一般質問

池川保育園
建て替え工事



説明不足で
申し訳ない

問

大野 弘議員

建て替え工事補助金が、今年度当初予算に計上されていた、なぜ予算審議前に事前説明ができなかったのか。

打ち合わせ回数や設置場所など、話し合いの内容は。

答

竹本教育長

建て替え事業は、国の補助を受け園舎の設計費用、解体費用、新築費用が補助される。当初予算審議時には構想図面しかなく資料不足で説明ができなかった。打ち合わせ回数は 8 回程度、担当者との打ち合わせ



建て替えが予定されている池川保育園

は頻繁に行った。設置場所は、園の思い入れもあり現在の場所で最終的に決定した。

問

大野

教育委員会は打ち合わせを数回行っている。その内容を事前に話せば問題にはならなかった。

今後は、重要な案件は十分に説明し、進めるべきでは。

答

教育長

丁寧な説明をするべきだった。

具体的な内容が決まれば説明をしながら進めていく。

職員の異動は

適材適所を最優先

問

大野

平成 30 年 6 月と 12 月に、農林業担当職員の体制強化を求めた。

4 月の職員異動にどのよう to 反映されたのか。

合併後 14 年経過している。全職員が町内を把握し、住民サービスできるよう配置すべき。

同じ部署で長い方は何年異動をしていないのか。各支所に配置されたことのない職員はいるのか。

答

大石町長

農林業の抱える課題に取り組むために、来年度以降早い時期の実施を計画し、機構改革で、農林業専門の農林課の設置など検討を始める。

現在、各部署に最適な人材を配置する適材適所を最優先に人事異動を発令している。

長期的な視点に立ち人材

の育成を考慮した、人事異動を行い行政サービスの質の向上に配慮する。

また、同じ部署での勤務年数及び総合支所に配属されていない職員は、合併後同じ部署で最も長く勤務した者の年数は 13 年、総合支所に配置されたことのない職員数は 30 人(専門職含む)。

問

大野

各支所の経験は重要、本庁職員は町内の情報提供ができる体制づくりを。

答

町長

限られた人員で、行政サービスをを行い、専門職員も育てていく必要がある。

適材適所を最優先に取り組む。基本的には 3、4 年ぐらいをベースに庁内を一巡し、地域の人も覚え今後の人材育成につなげる。

問

大野

副町長は、各支所へ月に何回程度行き、職員とのコミュニケーションを図っているか。

答

片岡副町長

定期的ではないが、用務があるときに支所に行っている。今後はできるだけ出向く。

地域担当職員の活動は

原則月 1 回地域に出向く

問

大野

職員は、地域の声を聞き、相談に乗っているか。現在の活動状況は。

答

副町長

町内を 20 地域に区分し、5 人から 7 人の職員を配置、原則月 1 回地域に出向き、区長に配布文書などを届け、要望などを聞き、担当部署につなぐ活動をしている。

問

大野

地域の状況を知る上で良い取り組み、お年寄りには頑張っている。積極的な活動をする。

答

副町長

積極的に声掛けをするよう指導する。

一般質問

住宅の防犯対策は？



個人情報保護、法的な観点から慎重に検討

問

藤崎源彦議員

公営住宅の防犯対策の現状は。

答

大石町長

町内には、23団地66棟の公営住宅があるが、特別な防犯対策は行っていない。

問

藤崎

住宅において、人為的な行為による被害があった報告は。

答

津野町民課長

田村団地で、車へスプレーを吹き付けられた被害報告があった。

答

大原池川住民福祉課長

ハイツ清流で、今年5月26日に田村団地と同様の被害報告があった。

答

藤村仁淀住民福祉課長

最近はないが、今後注視していく。

問

藤崎

再発防止のため、防犯カメラや防犯灯などの設置が必要では。

答

町長

現在、防犯カメラは設置していない。防犯灯は、2団地（定住名野川団地、下川渡団地）は未設置。8団地は道路沿いの街灯が役割を担っている。

防犯カメラの設置は、住民の総意が必要。個人情報保護法の規定にあたる。今後慎重に検討する。

答

片岡総務課長

防犯灯は、補助制度を設け地区で設置、増設を毎年実施している。



耐震、防犯に課題がある町営住宅

問

藤崎

住宅の住民が安全で安心して暮らせる住環境整備に必要な対策は。

答

町長

公営住宅の大半は、昭和時代の建築物で、耐震診断が必要。設備の老朽化や内装の劣化も著しい。

耐震化並びに改修には多額の費用を要することから、財政状況をみながら効果的で効果的な対策を今後検討する。



(2) 佐川高校

『いのち輝けくさくら咲くプロジェクト』発表会

台風3号（当日熱帯低気圧）の接近で順延され、佐川高校3年生の発表会が6月28日開催された。8チーム（34人うち本町出身10人）が、「私たち、地元の魅力を伝え隊」「佐川茶を動画で知ろう」「五位山公園改造計画」「サクころプロジェクト」4つの町を今1つに「ちょこっとサイクリング」「茶っ葉を食す」「地域で作る写真アルバム」「着物で見る歴史の桜」「青春の1ページ」のテーマを企画、構成し、アイデア、ユーモア、斬新な手法・方法・工夫を凝らして発表。高校生目線での内容は、私ども大人に気付かされたことや発想の豊かさ、素晴らしさに、ただただ感動をもらい、また、今後の方向性まで示していた。

何より感銘を受けたことは、一人一人の言葉、態度、間合い、強弱、それに全体の構成には驚かされた。生徒が少ないゆえ、個々にリーダーシップの自覚が芽生え、決して臆することのない佐川高校の成長している姿があった。

指導に当たっている教員のおかげでもある。

（片岡智準 記）

発表会の一コマ



安居溪谷「宝来荘」備品類存在確認特別委員会設置に関する決議

平成31年 4 月 1 日、安居溪谷森林総合利用施設指定管理者の変更により、当施設の備品類が多数紛失していることが発覚したため、その原因を調査するため、次のとおり、安居溪谷「宝来荘」備品類存在確認特別委員会を設置するものとする。

記

1. 名 称 安居溪谷「宝来荘」備品類存在確認特別委員会
2. 設置の根拠 地方自治法第109条及び仁淀川町議会委員会条例第 6 条
3. 目 的 安居溪谷「宝来荘」の紛失した備品類の調査を行うため
4. 委員の定数 5 人
5. 調 査 期 間 議会が事件の調査終了を議決したとき。
閉会中もなお調査を行うこととする。
6. 施 行 日 令和元年 6 月 13 日

特別委員会委員

委 員 長	片 岡 智 準
副委員長	竹 本 文 直
委 員	大 野 弘
委 員	左 京 憲 昌
委 員	藤 崎 源 彦

産業建設常任委員会 視察結果報告

委員長 岡 田 良 成

産業建設常任委員会視察
結果を報告いたします。

令和元年 5 月 16 日、午前
9 時から午後 5 時まで実
施。委員 5 人、議会事務局
2 人、各担当課長 3 人、職
員 5 人。事業ごとに各担当
から説明を受ける。

集落活動センター改修工
事予定地 6 千万円のうち、
加工施設新築工事 2 千 983 万
9 千円。「ゆの森」駐車場改
修費 1 千 300 万円。

赤藪沈下橋（大王橋）補
修工事予定地、請負金額 1
千 425 万 6 千円、工期平成 31
年 4 月 23 日～令和元年 6 月
30 日。

林道上名・用居線災害復
旧工事 1 億 2 千 229 万 7 千 40
円、現場視察。工期平成 30
年 10 月 18 日～令和元年 10 月
31 日。

総括

集落活動センター改修工
事、加工施設新築工事につ
いて、地ビール製造の成功

した事例があまりないの
で、執行部は責任を持って
管理、監督し事業が成功す
るよう要請する。赤藪沈
下橋、診断士会のコンク
リート診断士による現地確
認し、高知工科大の教授の
意見を聞き発注。

林道上名・用居線地すべ
り災害復旧工事、上部に不
安定な岩塊が、切土法面の
背後に亀裂があり、崩落の
危険性があると判断した。
平成 31 年 4 月 9 日に工事を
部分中止した。

不安定な岩塊の除去及び
ロックボルトによる法面補
助の追加が必要と判断し、
重要変更の協議をしてい
る。

安全対策を施し事故のな
いように工事の指導を要請
する。

総務教育民生常任委員会 活動報告

議会インターネット中継

～12月定例会から配信開始～

委員長 藤 崎 源 彦

1 概要

総務教育民生常任委員会では、12月定例会からの本格運用に向け、下図のスケジュールで準備を進めている。

議会インターネット中継では、定例会及び臨時会の審議状況の映像を、インターネット経由でライブ配信（生中継）及び録画配信する。

現在、議場に3台のカメラを含む映像撮影機器を設置。映像配信にあたって必要な機器類は、新たに導入する。

映像配信に係る機器の設置、映像配信及び運用管理業務は、他の自治体実績のある専門業者を、一般競争入札にて選定し、委託する。

2 運用までの流れ

① 6月中に委託業者を選定

② 9月定例会の映像を、役場内で試験的に配信。

③ 試験映像を議員及び関係者で視聴し、修正・改善を協議。

④ 12月定例会から本格運用

3 委託業者の選定

委託業者は、6月中旬に公募し、条件に合致した専門業者を選考し、同月中に一般競争入札を行い選定する。

4 試験配信

9月定例会の映像を、役場内のみにライブ配信し、職員によるチェックを行う。

受託業者が、録画配信向けに編集した映像は、議員全員及び執行部を含む関係者で視聴し、修正、改善など協議し、結果を委託業者に伝達する。

受託業者は、協議結果を

踏まえ、本格運用に備える。

5 一般向け配信開始

12月定例会の審議映像を、一般に向けライブ配信及び録画配信する。

配信映像は、パソコン、スマートフォンなどで仁淀川町ホームページの議会映像配信サイトにアクセスして視聴できるようにする。

ライブ配信では、生映像が視聴でき、議場へ傍聴に來られない方にとって便利で、手軽に議会の審議状況が分かる。

録画映像は、定例会の5日程度後より、視聴者が見やすいように編集して配信する。視聴者は、見たいときに、じっくりと視聴できる。また、関心のある映像のみ選択して視聴することもできる。

議会インターネット中継システム導入スケジュール

NO	項目	業者	事務局 (管財)	総務教育 民生常任 委員会	期間	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	第1回総務教育民生 常任委員会	○	○		令和元年5月20日(月)	● 5/20							
2	仕様書・設計書作成	○			令和元年5月1日(水) ～ 令和元年6月20日(木)		● 6/20						
3	公告（一般競争入札）	○			令和元年6月11日(火) ～ 令和元年6月19日(水)		● 6/19						
4	一般競争入札	○	○		令和元年6月25日(火)		● 6/25						
5	契約締結	○	○		令和元年6月26日(水)		● 6/26						
6	施工期間	○			令和元年6月26日(水) ～ 令和元年7月31日(水)			● 7/末					
7	操作説明	○	○		令和元年7月末頃			● 7/末					
8	第2回総務教育民生 常任委員会	○	○					● 8/初					
9	試験（9月定例会）	○	○	○	令和元年8月初旬頃 ～ 令和元年12月初旬頃								
10	運用	○	○	○	12月定例会より 本格運用								

高吾北広域町村事務組合報告

令和元年 6 月3日 (第2回定例会)

高吾北広域町村事務組合
議定会例会が招集され、全
議員、組合長、副組合長、
全施設長が出席し開会。

高吾北広域町村事務組合 組合長報告

29年度から3年間の継続
事業となる清掃センター基
幹的施設整備工事は、3月
に2号焼却炉の性能試験運
転を終了し、4月から通常
の焼却業務を行っている。
最終年度となる今年度
は、5月から1号焼却炉解
体作業に入り8月中旬から
焼却施設機器の据え付け、
11月中旬から工事を実施、
1月下旬からごみを投入す
る試運転を開始し、2月中
旬から性能試験をする予
定。

一般質問 竹本文直 (仁淀川町) 産業廃棄物プラスチックの 問題について

環境省は国内で産業廃棄
物として排出されたプラス
チックごみを市区町村の焼
却施設などで積極的に受け
入れるよう要請。中国など
のプラごみ輸入禁止など
国内処理が追い付かず、自
治体の施設活用による後押
しが必要と判断をしたとい
う記事が載っていた。この
件について本組合はどのよ

うに考えているのか。

清掃センター所長

岡崎一志

高知県環境対策課に問
合わせた結果、高知県内
では特に影響は出ていない。
そのため、ひびいた状態
ではなく、現在のところ、当
組合での処理対応になるこ
とはない、引き続き情報、
状況は随時連絡をするとの
回答。



改修工事中の清掃センター

市原静子議員 (越知町)

①施設内での看護職の改善
について伺う。

経験のない看護師の育
成、経験ある限られた人だ
けの仕事になっていない
か。また一人で担当の施設
もある。負担が多くかっ
ていないか。
看護師の中には、資格だ
けの人もいると聞く、資格

と経験年数があっても全く
人任せで長い間勤めている
方もいると聞く。それぞ
れの施設長の答弁を。
②看護師の採用最終年齢を
45歳に引き上げは。

春日荘所長

堅田文彦

特別養護老人ホームの看
護師に求められるのは入居
者の健康管理が第一、毎日
の生活から健康状態を把握
し、変化があった場合、適
切な対応を迅速に行う必要
がある。この変化を見抜く
力は豊富な知識と経験を積
み重ね向上する。
経験の少ない、まったく
ない看護師については経験
豊富な看護師の指導の下、
育成を行っている。春日荘
には、現在3人の看護師を
配置、勤続年数が長いベテ
ラン、中堅がそろっており、
限られた職員に業務が集中
することはない。

五葉荘所長

藤原 剛

五葉荘は特別養護老人
ホームに4人、養護老人
ホームに1人配置。特別養
護老人ホームの看護師のう
ち医療機関での勤務経験の
短い者が1人いる。採用か
ら14年経過するが、医療機
関での就労経験を持つ看護
師と同じ質、同じ量の業務
を同等の責任を持って遂行
しており、経験のないもし
くは経験の少ない看護師の
育成は一定の水準で達成さ
れている。

また、養護老人ホームの
看護師の配置は1人だが、
他職種の職員と協力連携し
て業務に当たっている。併
設の特別養護老人ホームの
看護師の協力も得られ、過
度の負担にならない勤務体
制である。

もみじ荘所長

山尾利也

平成30年10月から実務経
験のない看護師が配属と
なった。
看護師2人体制で、業務
の遂行と同時に指導育成が
必要なため、広域を退職し
た看護師を臨時雇用し、
人体制にて業務の負担軽減
に努めている。



もみじ荘

あがわ荘所長

小野真紀

看護師は2人配属、未経験
者の看護師の配置はな
い。
4月に1人異動があった
が、現任の看護師と情報を
共有し業務を進めており、
特に問題は発生していない。



あがわ荘全景

湖水園所長

田元清昭

湖水園での看護師の配置
は1人。他の福祉施設、医
療機関での経験もある。他
の職種の職員とも共同で業
務に当たっており、過度の
負担にならない業務状態で
ある。

組合長

大石弘秋

看護師採用の年齢要件
は、40歳までだったが、令
和元年10月採用予定は年
齢要件を昭和45年4月2日
以降生まれで50歳未満とし
ている。



湖水園全景



(3) 仁淀川町での子育てとファミサポの輪



あと、今でもありがたく思っています。

そして現在子どもたちは、入園した長者保育所でもアットホームな雰囲気の中で安心して子ども時代を過ごせており、仁淀川町に住んでいることの幸せを日々感じています。

夫の転勤で長者に住むようになり6年目になります。0歳だった長女は5歳になり、3年前には長男も生まれました。夫も私も九州出身で知り合いがいなかったため、引っ越し当初は子育て支援センターの先生方や他のお母さん方と交流することが毎日の楽しみでした。

支援センターには来所する親子を歓迎してくれる温かい雰囲気があり、心細かった時期を支えてくださった先生方には本当にお世話になりました。

池川保育園の一時預かりにもとてもお世話になり、子どもたちの乳児時代を楽しく育児ができたのは、行く先々で温かく迎えてくださった皆さんのおかげです。

私もいつもたくさんの方にお世話になって子育てができていますので、ファミサポ事業も、保護者の方々の心強い助けになればとお手伝いさせていただいています。子育て中の方々に援助し

たいと集まってくくださる会員さんたちのお力を借りながら、地域の皆さんのお役に立てるファミサポの輪



(4) 〃 松谷ナイトサービス ”

を、仁淀川町に広げていきます。

長者 なかつるゆい
中津留由衣

仁淀川町松谷、典型的な過疎の集落に、毎夜カラオケの歌声が響いている。仁淀川町狩山出身の堀岡さんご夫婦は大阪で暮らしているが定年退職後、奥さんの実母が生活されている松谷と大阪を、毎月行き来しながらの生活をされている。夫婦とも趣味はカラオケ、自宅に立派なカラオケセットを構え歌三昧の毎日を楽しんでいたが、皆で歌えばもっと楽しいだろうと、松谷の住民に声を掛け、2年半ほど前から毎夜カラオケ大会を開いている。



持ち歌を熱唱

多いときには12〜13人集まるそうで、お邪魔した日には8人集合。全員が順番に曲を選び、実に楽しそうに出していた。堀岡さんによると、午後5時ごろから9時まで、松谷で生活する約2週間、毎夜堀岡さん自身が送迎し、まさに、ナイトサービス。



みんなで楽しくイエーイ！

を皆さん歌い、リズムに合わせて、体を動かし、みんな本当に元気そのもの、楽しい仲間と楽しい時間を過ごすことでボケる暇もないと話されていた。

(竹本文直 記)



見事な木組みと彫り物



絵馬にも地域の製紙業が伝えられている



文化 3 (1806) 年、長州大工、周防大島郡西方村の藤次郎により建立。昭和50年 8 月17日台風 5 号で裏山と共に崩壊した後、設計料330万円。敷地整備費379万 8,000円、本殿拝殿再建築費5,450万円、合計6,159万 8,000円で昭和56年 4 月30日に再建された。昭和後期にこんな高額な再建は例を見ないのでは、取材しての驚きです。



「地主神社」(狩山日浦)

大災害を乗り越え再建

平成 31 年 3 月											
5 月 7 日 定例議会											
5 日 全員協議会											
13 日 池川・仁淀中学 卒業式											
22 日 池川・長者・別府小学校卒業式											
〃 県知事「対話と実行」行脚 地域住民との意見交換会											
23 日 池川保育園卒園式【竹本副議長出席】											
28 日 議会だより特別委員会											
4 月											
1 日 池川保育園入園式【副議長出席】											
8 日 高知県立佐川高等学校入学式											
9 日 春季戦没者追悼式(池川)											
10 日 吾川郡町村議会 議長会定期総会											
12 日 春季戦没者追悼式(吾川)											
13 日 春季戦没者追悼式(仁淀)											
14 日 中津観光開き											
16 日 議会基本条例検討特別委員会											
〃 議会だより特別委員会											
令和元年 5 月											
13 日 道路整備促進期成同盟会高知県 地方協議会通常 総会、道路整備 促進高知県大会 (高知市)											
15 日 国道33号整備促進期成同盟会総 会											
16 日 産業建設常任委員会											
20 日 総務教育民生常任委員会											
〃 議会基本条例検討特別委員会											
24 日 高知県中央地区 消防協議会総会 (秋葉の宿)											
28 日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)											
6 月											
3 日 国道33号整備促進期成同盟会高 知県協議会総会 (越知町)											
〃 広域協議会											
4 日 議会運営委員会											
10 日 町身体障害者会 総会【副議長出席】											
22 日 吾川郡町村議会 議長会県外研修 (宮城県、岩手 県)											

編集後記

議員となり、はや1年半となりました。この間、議会活動では、議会運営委員、産業建設常任委員、そして議会だより編集委員として取り組んでいます。議会だよりは、年4回の定例議会後、議会の内容や活動状況を集約し、いかに分かりやすく伝えられるのか、苦慮しながら取り組んでいます。

今後とも議会活動に興味を持っていただき、傍聴にも参加していただけたら幸いです。また、議会だよりの内容や活動に対し、ご意見ご要望をお聞かせください。

(大野 弘記)

編集委員長 竹本 文直
副編集委員長 左京 憲昌
編集委員 野村 安夫
藤崎 源彦
大野 弘
若藤 敏久

議長

